

平成 17 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏 名 西 山 要 一



最終学歴	龍谷大学文学部(国史学) 1971年卒業
取得学位	文 学 士
所属学会	日本文化財科学会、文化財保存修復学会、International Institute for Conservation of Artistic Works(I. I. C.) 等
現在の専門分野	保存科学・文化財学
研究課題	(1)文化財保存環境の研究(温湿度調整・大気汚染影響)、(2)東アジアの古代象嵌銘文大刀の研究、(3)レバノン共和国所在ローマ時代壁画地下墓の保存修復研究 等
<p>【研究上の特記事項】</p> <p>(1)については15年間、(2)の課題については25年間研究を継続していて、毎年新しい資料の発見、新しいデータを集積している。(3)については2004年よりレバノンに赴き継続して研究している。 その他、文化財の科学分析、科学的保存処理等を行い、さまざまな研究開発も行っている。</p>	
<p>【教育上の特記事項】</p> <p>研究課題(1)～(3)については、学生も参画し実施している。その他、授業・実習以外にも文化財の材質分析、科学的保存処理、文化財の現地見学等、の機会を設けて学生とともに学び、研究している。</p>	
<p>【社会的活動】</p> <p>大阪府阪南市文化財審議会委員(委員長)、大阪府吹田市文化財審議会委員などに就任している他、教育委員会や民間団体主催の歴史・文化財の講演会の講師を務めている。</p>	
<p>【学内活動】 (学内職歴を含む)</p> <p>文化財分析機器の新設・充実に伴い、学生を対象にこれら機器利用の講習会を開催、オープンキャンパスでの公開・デモンストレーション、学内・学外(一般)に呼びかけた研究会等を開催し、文化財研究・保存科学研究・文化財保存の普及につとめている。</p> <p>2006年度には、文化財学科学科主任、全学企画委員会委員などを務めた。</p>	

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月		発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1 2 3 4 5					
(学術論文) 世界遺産の環境—奈良・屋久島・レバノン レバノン・ティール郊外地下墓TJ04の保存修復(2004) レバノン共和国ティール遺跡の学術調査2004 レバノン共和国ティール郊外ラマリ地区ローマ時代地下墓TJ04の保存修復の学術調査2004 Report of the Conservation Mission for TJ04 in	単 単 復 復 単	17 3 17 10 17 3 17 3 17 9	奈良大学総合研 奈良大学 日本西アジア考古 金沢学院 3号 大学『金 奈良大学	世界遺産3か所で大気汚染を測定し現状と課題を レバノン・ティール郊外地下墓の修復の概要報告 レバノン・ティール郊外地下墓の修復の2004年度 レバノン・ティール郊外地下墓の修復の報告 レバノン・ティール郊外地下墓の修復の2004年度	
(学会発表) レバノン共和国・ティール郊外ラマリ地区地下墓TJ04の保存環境熱伝導率による無機造形物の劣化度定量的評価(4)—レバノン国 3 4 5	復 復	17 7 17 7	日本文化財科学会 日本文化財科学会	レバノン・ティール郊外ラマリ地区地下墓TJ04の地下墓壁画の劣化度を現地で定量的に測定しその	
(その他) 1 2 3 4 5					